

ヒトの体のつくりを調べよう

吹田市立山田第二小学校

教科

理科

単元名

ヒトの体のつくりと運動

単元でつけたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつけたい力）

- ・ヒトの体には骨と筋肉があり、体を動かすことができるは、骨や筋肉のはたらきによるこころを理解する。
- ・観察、資料から調べることなどに関する技能を身につけ、主体的に問題解決する。（学校図書館等の活用でつけたい力）
- ・ヒトやヒト以外の動物の骨、関節、筋肉についての資料などから情報を集める。
- ・自分で集めた情報と他者の情報を共有し、1つにまとめる。

本単元で育む主な情報活用能力

D-STEP 2, H-STEP 2

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開（全8時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (1時間)	・運動しているときのヒトの体の動きから、腕の中の骨がどのようにになっているか、予想や仮説を立て、表現する。
第2次 (1時間)	○体のつくり ・自分の体を触ったり、骨の模型や映像などの資料を活用したりして、体を曲げられるところを調べる。 ・体の曲げられるところについて、他者とかかわりながら問題解決する。
第3次 (1時間)	○体が動くしくみ ・ヒトの体には、骨と筋肉があり、ヒトが体を動かすことができるは、骨や筋肉のはたらきによるこころを理解する。
第4次 (2時間)	○動物の体のつくりとしくみ（☆） ・ヒト以外の体のつくりや、体を動かすしくみについて、資料を活用して調べ、ヒトと関係付けて考察し、自分の考えを表現する。
第5次 (2時間)	○ヒトの骨や関節、筋肉のしくみ（☆）（本時） ・図書資料や、タブレットを活用し、ヒトの骨と関節、筋肉のつくりについて調べ、まとめる。
第6次 (1時間)	○発表 ・調べたことを発表し、クラス全体で共有する。

本時のねらい

- ・骨や筋肉、関節のしくみについて、調べたことを1つにまとめる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (3分)	1. 前時までの学習をふりかえる。 ・本時は自分で調べた後に、班でまとめることがわかる。 ・班で決めた体の調べる場所の確認をする。	・本を一人一冊用意する。 ・ヒトの体の拡大したポスターを用意する。
展開 (39分)	2. 各自分で骨や関節、筋肉のつくりやしくみについて調べる。 ・本で、骨、関節、筋肉について調べてから、さらに知りたいことを、タブレットで調べる。 ・オクリンクに自分の調べたことを書いて提出する。 	・オクリンクの提出Boxを作成しておく。 ・班でまとめるためのワークシートを用意する。 ・全員がオクリンクに提出した後、班で1つにまとめることがわかる。
まとめ (3分)	3. 調べた内容を班で1つにまとめる。 ・各自で調べたものを見ながら、どのようにまとめるか班で相談しワークシートにまとめる。	・はじめに本で調べることを伝える。 ・机間指導する。 ・ある程度調べることができたら、インターネットで調べるよう声をかける。 ・情報をまとめておくことで、班での話し合い時に、まとめやすいことを実感させる。
まとめ (3分)	4. ふりかえりと次時の学習の見通しをもつ。 ・全員の調べた内容が、まとめたものの中に入っているか確認する。 ・次回は仕上げて、班で発表することを知る。	・オクリンクに全員提出できているか確認する。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・前時に動物について調べた内容を、全員がオクリンクに提出したので、見通しをもって進めることができた。
- ・一人ひとりが主体的に調べ、まとめたことで、発表するときの聞く姿勢も培われた。



学校図書館や地域の図書館で借りた本で調べました。